

DAIKUEI

Vol.94



一般
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

機関誌 第94号(新春号)



新年のご挨拶

会長 北村 広外志

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

はじめに、令和6年能登半島地震により亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災されました皆様に対して心よりお見舞いを申し上げます。

さて、昨年中の主な出来事といたしましては、11月には阪神タイガースが38年ぶりに日本一となり、大谷選手がメジャーリーグベースボール MBL で2回目の満票での最優秀選手賞 MVP 受賞、そしてドジャースへの入団という嬉しいニュースもありました一方で、気象庁は、昨年の夏の全国の平均気温が平年より1.76度高く、1898年の統計開始以来最高と発表しました。

世界各地でも同様の傾向がみられ、まさに「地球沸騰化の時代」といっても過言ではありません。

そうした状況を踏まえ、我が国においても、2050年「カーボンニュートラル」を目標に掲げ、グリーン社会の実現に向けて、住宅・建築物において、更なる省エネルギー化に向けた取り組みが急務であり、空調衛生工事業界としましても、「脱炭素社会」の実現に向け、一丸となって取り組んでいくことが必要となっております。

また、賃金の上昇があっても、物価上昇には追いつかず、実質生活費面でのマイナスという苦しい状況が続いております。

我々設備工事の状況としましては、大型プロジェクトの進捗などによるタイトな工程と、資機材価格の高止まりや、人手不足による労務費上昇で、厳しいコストで難しい施工管理を行わなければならない状況であります。

更に、改正労働基準法により本年4月から建設業にも適用される罰則付き時間外労働の上限規制に対応するため、「働き方改革」は待ったなしといえます。

特に、長時間労働を余儀なくされる現場における業務の効率化、合理化、バックアップ体制の確立等、更なる生産性向上が急務であります。

そこで、昨年4月に日本空調衛生工事業協会が日本電設工業協会と共同で『適切な工期設定及び契約変更並びに「働き方改革関連法」の遵守に向けたお願い』を公表し、「働き方改革」推進に向け、公的発注機関や発注者、ゼネコン、各諸団体等への要請活動が展開されております。

当協会としましても、日本空調衛生工事業協会と連携を図りながら、継続的に取り組んでまいります。

当協会は、本年2月に社団法人として設立されてから満50周年の佳節を迎えることから、半世紀にわたる歩みと空調衛生工事業の未来社会を支える先導的役割等を記念誌として留めるとともに、魅力ある産業であることをこれからも発信してまいります。

最後になりましたが、協会活動の活性化と業界の更なる発展のために、会員・賛助会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、各社の繁栄と皆様にとってすばらしい一年になることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

大阪府知事

吉村 洋文

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
皆様には、日頃から建設業の振興を通じ、大阪府政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

初めに、令和6年能登半島地震で、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。大阪府としても、被災地の一日も早い復旧・復興に向け、できる限りの支援を行ってまいります。

昨年春、大阪を今よりも良くしたい、さらに元気にしたい、という思いを胸に、「教育無償化」「2025年大阪・関西万博の成功」「府市一体の成長戦略」を大きな柱に掲げ、知事として2期目の府政の舵取りをスタートしました。

2025年大阪・関西万博については、開幕までいよいよ1年あまりとなりました。日本全体への経済波及効果のみならず、世界の多様な価値観が交流しあい、新たなつながりや創造が促進されることで、経済、社会、文化等のあらゆる面において、さらなる成長、発展の契機となります。こうした万博の意義や効果、各国の展示内容などを、国や博覧会協会、経済界などとも連携し、府民の皆様をはじめ国内外にしっかり発信することで、より一層の理解促進や機運醸成を図ってまいります。

また、大阪の持続的な成長のため、インフラ整備や大阪のポテンシャルを活かした魅力あるまちづくりを着実に進めてまいります。3月には北大阪急行線の延伸部が開業し、9月には、うめきた2期区域の先行まちびらきを迎えます。これらを通じて、大阪全体のさらなる活性化や国際競争力の強化に資する拠点の形成につなげてまいります。

さらに、なにわ筋線の整備、大阪モノレールや淀川左岸線の延伸をはじめとする鉄道・道路ネットワークの充実・強化を図ります。

このほか、近年頻発する集中豪雨などの自然災害などの危機事象への対応力強化を図ってまいります。

こうした施策を推進していくためには、建設業に従事する人材の確保と皆様が安心して働くことができる環境づくりが重要です。貴協会におかれましては、未来を担う技術者、技能者の育成や確保等に取り組まれております。今後とも、大阪の建設業、大阪・関西経済のけん引役としてご活躍いただきますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会の今後ますますのご発展と、今年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りいたします。



新年のご挨拶

国土交通省 近畿地方整備局

営繕部長 中山 義章

明けましておめでとうございます。

一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会並びに会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より官庁営繕事業の推進にあたり、格段のご支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国土交通省では、温室効果ガスの排出削減計画の目標を、2030年までに50%削減することとしております。その達成に向けて新築建築物については「ZEB Ready 相当」となることを目指しているところです。そのためには、建物自体の断熱性の向上・日射負荷抑制などはもちろんのこと、高効率な設備システム（アクティブ技術）の採用や太陽光・地中熱等の自然エネルギーの利用を図ることが重要となります。

このような設備システムの実現には、様々な工夫や対応が求められます。とりわけ建築設備分野で先導的な役割を担い、各種ノウハウを培われてきた皆様の技術力に大いに期待するとともに、その果たすべき役割もますます大きくなっているものと考えております。

また、今後本格化する「大阪・関西万博」には、皆様方のお力添えが不可欠であります。

近畿地方を盛り上げるためにも、引き続きのご理解とご協力についてお願いいたします。

さて、建設業界では、昨年来よりの建設資機材の高騰や納期の遅延、人材不足や高齢化などのさまざまな課題を抱えるなか、本年4月から時間外労働の上限規制の適用が開始されます。近畿地方

整備局営繕部においても、「生産性向上」や「働き方改革」を一層進め、労働環境を改善し、やりがいと達成感のある「建設業界」となるよう努めていきたいと考えております。

営繕工事では令和5年度より、全ての新営設計業務及び新営工事の「BIM」活用において「EIR（発注者情報要件）」を原則適用とし、更なる活用を図っています。一般図レベルまでの設計図書を作成や工事受注者へのデータ提供を見据えた取組、施工部位での干渉チェック、建物のボリュームや景観のシミュレーションでの活用と、いずれも工事での効率化につながるものと考えております。営繕工事は、工種も多岐にわたることから、BIMにより配管や配線、ダクト等の干渉チェックなどにより工事を行うことが重要であり、平面より立体的に検証することで工事への理解が深まると考えております。

営繕事業における働き方改革としては、適正な工期設定、週休2日の推進のほか、現場実態を反映した適正な予定価格の算定や必要な契約変更の円滑な実施等に取り組んでおり、円滑な事業推進による質の高い官庁施設の整備を今後も着実に進めて参ります。

最後になりますが、空調衛生工事の重要な担い手である皆様のご尽力・ご活躍に敬意を表しますとともに、今後とも業界がより一層発展されることを期待し、また、貴協会並びに会員の皆様にとって本年が更なる飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

令和6年新年交礼会

賑やかに「甲辰」スタート



年頭の挨拶を述べる北村会長



来賓挨拶を述べる中山様（左）と岸本様（右）

令和6年新年交礼会は、1月11日午後6時から大阪・難波のスイスホテル南海大阪で関係官庁・団体、近畿各府県空衛協会からご来賓をお迎えし、約300名の参加者で開催しました。

北村広外志会長は年頭挨拶で、冒頭、能登半島地震により亡くなった方々に対してお悔やみを申し上げるとともに被災された方々にはお見舞いを申し上げ、「昨年は、明るいニュースの一方で、夏の平均気温が我が国の観測史上最高となり、わが国でも2050年カーボンニュートラルに向け更なる省エネ化への取組みが急務。」と述べました。

さらに、北村会長は、「本年4月からの時間外上限規制を控え、特に現場での一層の生産性向上による働き方改革を進めるとともに、適正工期の遵守に向け、関係団体と共に発注者等に要請を継続していく。」と述べるとともに、「本年2月に設立50周年を迎えるので、これまでの歩みを記念誌に留めていきたい。」と挨拶しました。

ご来賓の国土交通省近畿地方整備局営繕部長・中山義章様は、祝辞の中で「2030年までに温室効果ガスの50%削減に向け、新築の場合は原則ZEBReady相当を目指す。」との取り組みを示さ

れました。また、「そのためには、高効率な設備システムの採用等が求められており、先導的役割を担い、各種ノウハウを蓄積した皆様の技術力に大いに期待する。」と述べました。さらに、「今後本格化する大阪・関西万博に対して、引き続きのご理解とご協力をお願いする。」と挨拶されました。

また、ご来賓の大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室設備課長・岸本博之様は、「府では、令和5年度より、都市整備部内に新たに優良建設工事等の表彰制度を設けたところ。ZEB化推進方



「甲辰」の門出を祝って乾杯する城口副会長



年賀の挨拶を交わしながら和やかに交歓

針により府有施設の新築の場合、原則 ZEBReady 相当以上の整備を行う。」との取り組みが示されました。

また、府の取組として、「ESCO 事業では、計 120 事業を達成しており、また府内市町村においても一層の普及啓発を行う。省エネ化に向けては、皆様のノウハウ、技術力が不可欠なので、府発注工事への参加等、協力をお願いします。」との期待を寄せられました。

城口俊雄副会長の「カンカン乾杯」の発声で杯を上げたあと、祝電が披露され、賑やかに交歓しながら新年の挨拶を交わしました。

最後に若林尚史副会長の音頭で一本締めを行い、交礼会を終えました。



閉会の辞を述べる若林副会長

日空衛 第28回全国会議



挨拶する藤澤会長

日本空調衛生工業協会（日空衛 会長 藤澤一郎氏）の第28回全国会議が令和5年10月26日に秋田県秋田市の秋田キャッスルホテルで約320名で開催された。基本テーマに「産学官の連携」を掲げ、藤澤会長は、冒頭、2024年4月から適用の時間外労働の罰則付き上限規制に言及し、「適正工期の確保や4週8閉所にさらに力を入れる」と強調し、そのための新たな業界ビジョンを来年の全国会議で提示する意向を示した。さらに、カーボンニュートラル（CN）の実現に向けては、「空調衛生工事業は施工段階だけでなく、高効率の省エネ施設を提供することで建築物由来の温室効果ガスの排出削減に努めてきた。技術開発を進め、サ

秋田県秋田市に全国から約320名参集 ～基本テーマ「産学官の連携」～

プライチェーン（供給網）を通じた温室効果ガスの排出量削減を推進する必要がある」と訴えた。

その後、来賓を代表して国土交通省東北地方整備局の上森康幹副局長が挨拶をされた。

基調講演では、東北文化学園大学建築環境学科の赤井仁志客員教授が「カーボンニュートラルポストを見据えた空調衛生工事業の明るい未来～行き場のない太陽光発電を活用した蓄熱・貯湯と農業分野の再エネ熱利用等」と題して、講演した。

この後、講演1及び2が行われ、最初に秋田県建設部から「建設業の持続的発展を目指して～建設産業活性化センターの取組」について紹介した。

次いで、大曲商工会議所の小松忠信副会長が登場し、「大曲市花火産業構想に関する取組み」をテーマに講演した。

会議の後小憩し、立食方式の懇親会が開かれ情報交換・意見交換が行われた。



会議風景

第13回配管技能コンテスト開催

技能者、学生・生徒計38名が腕を競う

学生の部 専門学校生・小野田君優勝

一般の部 佐野氏が接戦を制し栄冠



学生の部上位入賞者（前列）



一般の部上位入賞者（前列）

大阪空気調和衛生工業協会(会長北村広外志氏)主催の第13回配管技能コンテストが8月19日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門学校で開催され、酷暑の中、一般技能者、専門学校生・高校生合わせて38名が腕を競った。

このコンテストは、次代の優秀な技能者の育成をめざし、全国の空調衛生設備団体の中で唯一、同協会が実施しているもの。協会のコンテスト実行委員会が運営に当たったほか布施工科高校など多くの教諭が審査委員・審査補佐員としてバックアップした。



学生の部優勝・小野田君



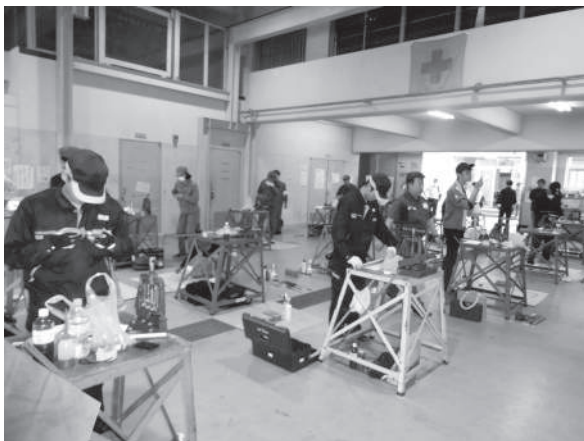
一般の部優勝・佐野氏

開会式で挨拶に立った河部副会長は、学校や関連団体など運営関係者の協力にお礼を述べ「建設業界は、若年労働者の減少、技能者の高齢化が顕著となり人材育成が喫緊の課題となっている。コンテストを通じて現役の配管工と建築設備を学ぶ若者が一堂に会して配管技能を競う意義は大きい。互いの技術力が磨かれ、技能向上に役立つことを願っている」と激励した。

コンテストには現場の第一線で活躍する技能者21名（一般の部）、建築設備関連の学科を履修中の北大阪高等職業技術専門校、大阪工業技術専門学校、布施工科高校、東住吉総合高校、彦根工業高校の学生・生徒17名（学生の部）が参加。一般の部では1級配管技能士検定レベル、学生の部では同3級レベルの課題作品制作に挑戦した。

作品はサイズ誤差、出来栄え、水圧試験による漏れ検査などで審査され、学生の部では大阪工業技術専門学校の小野田岳斗君が見事優勝に輝き、大阪府知事賞を受賞、大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課産業人材育成グループ課長補佐・今田久美氏からご挨拶のあと、同賞が手渡された。

準優勝は北大阪高等職業技術専門校の大西航世君が獲得し、以下、3位・岡潤也君（北大阪高等職業技術専門学校）、4位・中川ひなたさん（大阪工業技術専門学校）、5位・植村一輝君（大阪工業技術専門学校）が受賞し、今回、初めて、入賞者全てが専門学校生という結果となった。



競技の様子（学生）

布施工科高校の中井宏典校長より、学生の部の参加者に激励と期待のご挨拶があった。

一般の部では湖東総合システムの佐野哲広氏が優勝し、大阪府職業能力開発協会会長賞が授与された。準優勝は藤岡工業の石浜康氏、3位・小谷雅也氏（ツカサ）、4位・戸田孝氏（三和工業）、5位・横田哲也氏（三和工業）がそれぞれ受賞した。

競技終了後に行われた表彰式で小池清隆審査委員長（布施工科高校教諭）は学生の部について「寸法の誤差で差がつく結果となった。優勝者と準優勝者はほぼ完璧に近い完成度。漏水による失格者が7名も出たのは残念であった。」と講評し、一般の部についても「高度な技術や手際の良さなど迫力ある作業だった。寸法誤差で順位が決定する等、上位は激戦であった。漏水による失格者が9名も出たのは残念であった。」と講評した。

また、挨拶に立った同協会の西岡実行委員長は「現場を支えているのは熟練技能者であり、これからもさらに技術を磨いてほしい。当協会も、このコンテストを通じて、熟練技能者の育成、後継者の育成に寄与していきたい。」と総括し、参加者にエールを送った。



競技の様子（一般）

配管技能コンテストに参加して

☆☆優勝（大阪府知事賞）☆☆

大阪工業技術専門学校

小野田 岳斗



今回は就職活動や資格勉強など、限られた時間の中で、練習をしコンテストに出場しました。当日は大勢の出場者を前にとっても緊張していましたが、平常心を意識し、練習通り上手く配管を組み

合す事ができ、とても満足行く結果になりました。今回のコンテストの経験を就職先でも活かしていきたいと思います。

☆☆準優勝☆☆

大阪府立北大阪高等職業技術専門学校

建築設備科 大西 航世



今回、配管コンテストに参加させていただいたことで配管作業と向き合う機会を作ることができました。出場したからには優勝を目指していたので、一步届かなかったという結果には悔しい思いが溢れていますが、コンテストに参加し入賞したという経験はこれから先、実際に現場に出た時に自身に繋がるのと同時に、まだまだ修正できる部

分があると気づかされたので、こういったコンテストに参加できて良かったです。これからは、今回の経験で気づかされた部分にさらに磨きをかけたいと思います。

この度はコンテストに参加させていただき本当にありがとうございました。

☆☆ 3 位 ☆☆

大阪府立北大阪高等職業技術専門校
建築設備科 岡 潤也



今年の四月に入校したばかりで、配管作業を始めてから四か月程度でコンテストに参加することになりました。年々学生の部のレベルが上がっていると聞きました。現役の高校生や専門学校生達と肩を並べて競い合うのは、プレッシャーを感じると同時にとても光栄な気分でもありました。

学生の部にて三位という形で成績を残す事が出来たのも、ひとえに、先生方の熱烈でありながら正確な指導の賜物だと感じています。

次回参加する事があれば一般の部での参加になるかと思いますが、今コンテストでの経験を糧に、より良い結果を残せればと思います。

☆☆ 4 位 ☆☆

大阪工業技術専門学校
中川 ひなた



今回の配管技能コンテストで私は他にも試験勉強を同時に進めていたため、少ない時間での練習でした。私がこのような賞をもらえると思っていなかったのととても驚きました。このような技術を身につけられたのは先生の指導のお陰です。当日は思っていたより人が多く少し緊張しましたが、

一生懸命取り組むことができました。私の日頃の成果を出すことができましたと思います。今回この配管技能コンテストに参加して改めて日々の積み重ねが大事だと気づくことができました。これからも何事にも全力で取り組みたいと思います。とてもいい経験になりました。

令和5年度

安全衛生大会を開催



令和5年度安全衛生大会を昨年10月4日に大阪市西区の建設交流館8階グリーンホールで開催しました。

今回の大会は、コロナ前と同様の形式で、第1部の表彰式及び第2部の特別講演として、来賓、会員等、125名が出席しました。

最初に、業界でこの1年間で不幸にも事故などで亡くなられた方々に対して黙祷をささげてご冥福を祈りました。

大会で冒頭挨拶に立った北村広外志会長は「昨年の建設業における死傷者数は減少したものの死亡者数は増加傾向にあり、その要因としては、「墜

落・転落」が最も多い。このため、墜落・転落災害に対して、『フルハーネス型墜落制止用器具』の適切な使用の徹底が急務。」と訴えました。

また、石綿によるばく露防止対策における取組強化の必要性を述べながら、「労働災害を防止するためには、安全管理や労働衛生教育の粘り強い推進、リスクアセスメントによる安全な作業の徹底により一層取組んでいく必要がある。」と呼びかけました。

続いて、大阪中央労働基準監督署の安全衛生課長・高野清司様から来賓挨拶をいただきました。高野様は、建設業の死亡者数の7割が墜落・転落



挨拶する北村会長



来賓挨拶される高野清司様

災害に起因するものとし、このため、大阪労働局では、墜落転落・災害防止に向けた諸活動への協力を要請し、「人が集まる魅力的な建設業とするには、安心して安全な職場環境整備が重要であり、災害防止とともに働き方改革への取組みをお願いする。」と挨拶されました。

このあと、安全衛生優良工事現場の表彰式に移り、優良事業所16社を表彰しました。

受賞者代表が、北村会長から表彰状を受け取り、同代表が『安全の誓い』を力強く読み上げました。

引き続き、参加者全員で労働安全スローガン『高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場』と労働衛生スローガン『目指そうよ二刀流 ころとからだの健康職場』を斉唱して作業の安全を誓い、第一部を終了しました。

小憩の後、第二部の特別講演に入り、経済ジャーナリストの須田慎一郎氏が、「どうなる日本、どうなる日本経済～コロナショック、そしてウクライナショックがもたらすこと」と題して講演し、日本経済の動向を分かりやすく解説するとともに、復活への鍵を生活の視点から訴える等、終始、出席者も聞き入っていました。

最後に、福地労務委員長が閉会の辞を述べ、大会を終えました。



会長より工事表彰



受賞者代表による「安全の誓い」



特別講演する須田慎一郎様



閉会の辞を述べる福地労務委員長

表彰会社名 (16社)

株式会社朝日工業社大阪支社	鳳工業株式会社	木村工業株式会社
三機工業株式会社関西支社	三神工業株式会社	敷島煖房工業株式会社
新菱冷熱工業株式会社大阪支社	須賀工業株式会社大阪支社	大晃設備株式会社
株式会社日設関西支店	株式会社不二設備工業所	不二熱学工業株式会社
株式会社前田商会	丸住株式会社	柳生設備株式会社
若林設備工業株式会社		

官公庁との懇談会

国土交通省近畿地方整備局営繕部

(一社) 日本空調衛生工事業協会近畿支部は、昨年11月29日、シティプラザ大阪で国土交通省近畿地方整備局営繕部との懇談会を開催し、来年4月からの罰則付き時間外上限規制に対応した工期設定、技術者不足に対応した発注方式、総合評価方式におけるWLB推進企業への加点等の取組等について質疑応答を行った。

今回の第19回懇談会には国交省から5人、近畿支部から15人が出席。来年4月からの罰則付き時間外上限規制に対応した工期設定についての質問に、国交省側から「適正工期については、日建連の工期に関するプログラムを参考に決定しており、工期延期についても協議を行っている。」との取組みが示された。また、技術者不足に対応した発注方式については「参加資格要件における技術者の工事実績等の緩和などを行っている。」との取組みが示された。総合評価方式におけるWLB推進企業への加点等の取組については「来年からWLB推進企業への加点措置を建築工事A・B等級等の工事に適用する予定。」と回答があった。その他、資材価格高騰等を踏まえた適正な契約締結については、「四半期ごとの経済調査会及び建設物価調査会からの発行物をベースに材料単価の見直しを実施している。」との取組みが示された。このほか、国交省からの質問事項について、意見交換を行った。



大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室設備課

(一社) 大阪空気調和衛生工業協会は、昨年11月17日にシティプラザ大阪で大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室設備課との懇談会を開催し、来年4月からの罰則付き時間外上限規制に対応した工期設定、「図面簡略型方式」の発注状況及び今後の対応、府有施設へのZEBの取組状況及び府営住宅へのZEHの検討状況等について質疑応答を行った。

懇談会には大阪府から4人、大空衛から10人が出席。来年4月からの罰則付き時間外上限規制に対応した工期設定について、大阪府からは「原則、週休二日促進工事を想定した工期の設定に努めている。」との回答があった。「図面簡略型方式」の発注状況及び今後の対応について、「昨年度は、改修案件2件を対象に実施し、今後も年に数件程度実施予定。」との回答を得た。府有施設へのZEBの取組状況及び府営住宅へのZEHの検討状況については、「今後、新築の府有建築物については、原則ZEB Readyを目指すとともに、新築の府営住宅については、標準設計段階で、ZEH-MOrientedの基準を満たすよう検討を進めているところ。」との回答があった。また、資材価格高騰等を踏まえた適正な契約締結については、「単価については、できる限り最新の見積りを採用している。」との回答があった。その他、「低入札価格調査制度」の目的については、「ダンピング受注防止を目的としており、低入札調査は、確認のため、必要な書類の提出としている。」との回答があった。このほか、大阪府からの質問や報告事項について、意見・情報交換した。



賛助会員「新技術・新商品説明会/懇親会」開催



新技術・新商品説明会のもよう（円内は挨拶する森田経営委員長）

令和5年11月20日に大阪市北区のハービスENTオフィスタワー9階会議室で賛助会員による新技術・新商品説明会を開催しました。説明会のあとには会員・賛助会員が交流する懇親会も開いて親睦を深めました。

説明会には賛助会員から新技術・新商品紹介として4社が参加、会員・賛助会員合わせて79名が出席。武田経営委員による司会で説明会を開会し、冒頭、当協会の森田明経営委員長から、「本交流

懇親会は、平成29年から実施しており、コロナ禍は新技術・新商品説明会のみで開催だったが、今回、第2部の懇親会は4年ぶりの開催。

今後も、新技術・新製品以外に各社の「働き方改革」への取組や生産性の向上の事例発表等、積極的に応募していただきたい」と要望しました。

説明会は、別表のプログラムにより、前半の部では、2社から説明の後、小憩。後半の部では、2社から説明がありました。

交流懇親会で和やかに交歓

説明会のあと、会員・賛助会員合わせて65名が参加の交流懇親会をハービスOSAKA 6階「ガーデンシテイクラブ大阪」で催しました。席上、当協会の北村広外志会長は、新技術・新製品を説明した賛助会員と参集者へお礼を述べるとともに、「来年は、新技術・新製品だけではなく、各社の様々な取り組み等も紹介してほしい」と述べ、乾杯の音頭をとり、和やかに歓談しました。

各テーブルでは名刺交換しながら賑やかに交流し、最後に辻経営副委員長の音頭で威勢よく一本締めを行い、散会しました。



懇親会で挨拶する北村会長



交流懇親会のもよう

【説明会プログラム】

No	会社名	新技術・新商品（概要）
1	T O T O (株)	<p>●トイレリニューアルにおける課題</p> <p>施工キャパシティ不足が加速し、現場の人手不足が慢性化・労働（作業）時間が減少。トイレのリニューアル計画に対し、ご期待に応えられない可能性が増える状況へ！</p> <p>●これからのトイレリニューアルコンセプト</p> <p>Approach 01: ワーカーの Well-being につなげるトイレ空間 Approach 02: 環境に配慮したプロダクトでつくるトイレ空間 Approach 03: 工事条件緩和と省施工による昼間工事への転換</p> <p>●「実現したい」が見つかる理想のトイレリモデル3プラン</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 器具機能性向上のミニマムプラン ▶工期 25 日／フロア 2. 器具と空間リフレッシュのベーシックプラン ▶工期 35 日／フロア 3. 利用者拡大バリューアッププラン ▶工期 55 日／フロア
2	因幡電機産業(株)	<p>● 冷媒配管の防火区画貫通部材【スリーブワン】</p> <p>● 冷媒配管の縦引配管固定金具【パイプロック】</p>
3	イシグロ(株)	<p>●高性能で高強度なエコ素材：「不燃段ボール製ダクト」</p> <p>「不燃段ボール製ダクト」が、脱炭素社会の実現を支えます。リサイクル紙とアルミを組合わせて生まれた本ダクトは限りある資源を効率的に利用し、継続的に再生可能な形で活用できる環境重視の製品です。</p> <p style="text-align: right;">（メーカー：山田ダンボール(株)）</p> <p>●「フレキチャンバー」</p> <p>施工に手間がかかるチャンバーボックスをフレキシブルダクトで製作する事により、圧倒的な施工合理化を実現致します。チャンバーボックスよりも高い消音性能・優れた施工性・送風能力・フレキシブルダクトによる施工スペースの有効化、軽量化をそのまま活かした構造など、今までに無かった製品です。</p> <p style="text-align: right;">（メーカー：(株)エスコ）</p>
4	L I X I L (株)	<p>●「LIXIL Toilet Cloud」</p> <p>2023年8月より展開を開始いたしました、パブリックトイレの清掃・メンテナンス業務をDX刷新する本技術の紹介をさせていただきます。ビルマネジメント業界の抱える慢性的な人手不足の社会課題を解決する新しいサービスであり、LIXILが持つトイレに関する技術・ノウハウと最新のIoT技術を組合わせ、管理負荷の大きいトイレの清掃・メンテナンス業務を効率化します。衛生陶器がクラウドに繋がることで、トイレ空間の状態をAIがモニタリングし、最適な清掃手順をナビゲートしたり、詰まり異常を検知してあふれ被害を未然に防ぐなど、予防や省人化の観点に基づいた次世代トイレ管理ソリューションを提供するものとなります。</p>



TOTO(株)による説明



因幡電機産業(株)による説明



イシグロ(株)による説明



LIXIL(株)による説明



第一部閉会の辞の辻経営副委員長



司会進行の武田経営委員

二酸化炭素消火設備に係る技術上の基準等の改正について

令和2年12月から令和3年4月にかけて二酸化炭素消火設備に係る死亡事故が相次いで発生したことを踏まえ、事故の再発防止のため、令和5年4月1日から二酸化炭素消火設備に関する技術上の基準が改正され、既に設置されている二酸化炭素消火設備についても、閉止弁の設置等が求められることとなりました。

※二酸化炭素消火設備とは、全域放出方式の二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備

以下は東京消防庁のホームページより抜粋します。

■既に設置されている二酸化炭素消火設備において必要となる主な対応

令和5年3月31日までに

1 標識の設置が必要となります

二酸化炭素を貯蔵する貯蔵容器を設ける場所及び防護区画の出入口等の見やすい箇所に、次の(1)(2)及びJIS A 8312(2021)の図A.1を表示した標識を設ける必要があります。

- (1)二酸化炭素が人体に危害を及ぼすおそれがあること。
- (2)消火剤が放射された場合は、原則として、放射された場所に立ち入ってはならないこと。



図A.1
二酸化炭素貯蔵容器の設置場所、出入口等の見やすい箇所に、図A.1の標識を設置する必要がある。

標識イメージ

2 図書の備え付けが必要となります

制御盤の付近に、次の①②を定めた図書を備えておく必要があります。

- ①二酸化炭素消火設備の構造
- ②工事、整備及び点検時におけるべき措置の具体的内容・手順

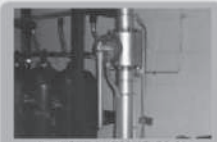


イメージ

令和6年3月31日までに

3 閉止弁の設置が必要となります

集合管又は操作管に、一定の基準に適合する閉止弁（二酸化炭素を放射するための配管を閉止するための弁）を設ける必要があります。



閉止弁（集合管）



閉止弁（操作管）

ただし…

令和6年3月31日までに設置されている閉止弁のうち、一定の要件を満たすものにあつては、一部の基準に適合しない場合であっても、違反となりません。



■閉止弁の基準

1 趣旨	消防法施行規則第19条第5項第19号イ(ハ)に規定する不活性ガス消火設備の閉止弁の基準を定めるものとする。
2 構造及び機能	見やすい箇所往常時開放し、点検時に閉止する旨を表示すること。開放及び閉止の旨の信号を制御盤に発信するスイッチ等が設けられていること。等
3 材質	さびの発生により機能に影響を与えるおそれのある部分は、有効な防錆処理を施したものであること。等
4 耐圧試験	弁を閉止した状態で弁の一次側に二酸化炭素を放射する設備のうち低圧式のものにあつては3.75メガパスカルの水圧力を2分間加えた場合に、損傷等を生じないものであること。等
5 気密試験	弁を開放した状態で二酸化炭素を放射する設備のうち低圧式のものにあつては2.3メガパスカルの窒素ガス圧力又は空気圧力を5分間加えた場合に、漏れを生じないものであること。等
6 作動試験	(1)直接操作又は遠隔操作により操作した場合に、確実に閉止すること。(2)閉止の状態での閉止の旨の信号が発せられること。(3)開放の状態での開放の旨の信号が発せられること。
7 等価管長	起動用ガス容器と貯蔵容器の間の操作管に設けるものを除き、水により等価管長を測定した場合に、ボール弁（フルボアのものを除く。）にあつては、50メートル以下であること。等
8 表示	次の(1)～(5)を閉止弁の見やすい箇所に容易に消えないよう表示すること。 (1)製造番号又は商標、(2)製造年、(3)耐圧試験圧力値、(4)型式記号、(5)流体の流れ方向（流れ方向に制限のない場合は除く。）

ただし、令和6年3月31日までに設置されている閉止弁のうち、一定の要件を満たすものにあつて②～⑧の一部に適合しない場合であっても、違反となりません。具体的には、次のとおりです。

閉止弁の設置時点	閉止弁の基準	2	3	4	5	6	7	8
①令和5年3月31日までに閉止弁が設置されている場合		△※1				△※1		○
②令和5年4月1日から令和6年3月31日までに新たに閉止弁を設置する場合		△※2	○	○	○	△※2	○	○

○：全ての要件に適合する必要がある △：一部の要件に適合する必要がある

※1 ②構造及び機能と⑥作動試験に係る次の要件への適合が必要

- 一 直接操作により操作する部分に、操作の方向又は閉閉位置が表示されているものであること。
- 二 見やすい箇所に常時開放し、点検時に閉止する旨が表示されているものであること。
- 三 直接操作又は遠隔操作により操作した場合に、確実に閉止するものであること。

※2 ②構造及び機能と⑥作動試験に係る次の要件への適合が不要

- 一 開放及び閉止の旨の信号を制御盤に発信するスイッチ等が設けられていること。
- 二 閉止の状態での閉止の旨の信号が発せられること。
- 三 開放の状態での開放の旨の信号が発せられること。

■その他主な改正点

全て令和5年4月1日から義務化

既に設置されているものを含め、全ての二酸化炭素消火設備が対象

- 二酸化炭素消火設備が設置された防火対象物における消防用設備等の点検は、消防設備士又は消防設備点検資格者が行うものとする
- 防護区画内に人が立ち入る場合は、閉止弁を閉止し、かつ、手動起動に切り替えた状態を維持する
- 消火剤が放出したときは、みだりに人が防護区画内に立ち入ることのないよう維持する

【参考】令和5年4月1日以降に新たに設置された二酸化炭素消火設備が対象

- 起動用ガス容器を設ける
- 起動装置には、消火剤の放出を停止する旨の信号を制御盤へ発信するための緊急停止装置を設ける
- 自動式の起動装置の場合には、二以上の火災信号により起動するものとする
- 常時人のいない防火対象物であっても、自動式の起動装置を設けた場合の音響警報装置は音声による

詳しくは、消防庁ホームページ等にて確認下さい。



空調設備ニュース 12

air conditioning news 2023.Dec

No.042

□ 機器 □ ダクト □ 配管 □ 換気
□ 排煙 □ 自動制御 ■ 他

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

業務用エアコンの冷媒R32への移行について

〇はじめに

2050年カーボンニュートラル、2030年度温室効果ガス46%削減の実現に向け、代替フロンを含むフロン類の排出抑制が地球温暖化対策上も喫緊の課題となっています。我が国でもモントリオール議定書(キガリ改正)を受けて、2019年1月1日から代替フロンの製造・輸入規制を開始、今後 国全体の代替フロン生産量・消費量それぞれの限度が段階的に切り下げられていくことになります。特に厳しくなる2029年以降の削減義務(2,145万t-CO2)を達成すべく、代替フロンの低GWP化、グリーン冷媒及びそれを活用した製品の開発・導入を計画的に推進しています。 ※GWP(地球温暖化係数)

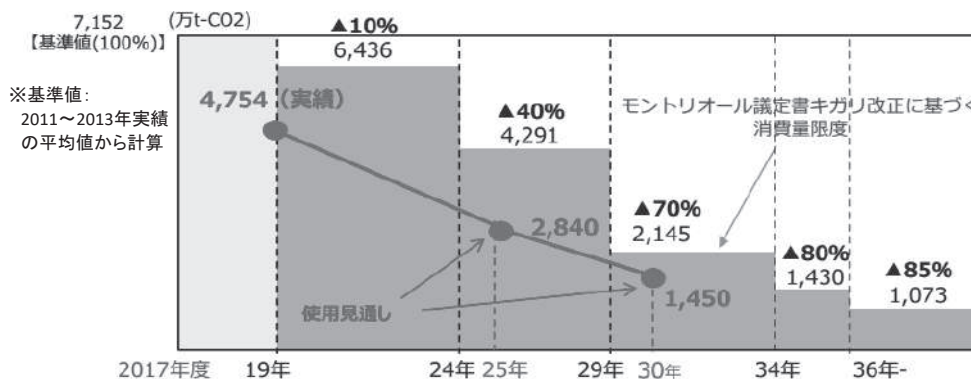


図1. 我が国の代替フロン削減スケジュール

〇業務用エアコンの冷媒転換について

業務用エアコンのメーカー各社は、オゾン層保護や地球温暖化対策など地球環境を守るため、これまで冷媒転換に取り組んできました。特定フロンであるHCFC(R22)から代替フロンHFC(R410A)などへ変わり、現在はGWPの低いHFC(R32)などへ変わりつつあります。ビル用マルチエアコンについても2025年に指定製品化される予定で、指定製品化により対象機種ユニットに封入される冷媒はGWP750以下とする必要があるため、R32等低GWP冷媒への移行が求められます。(図2、表1)

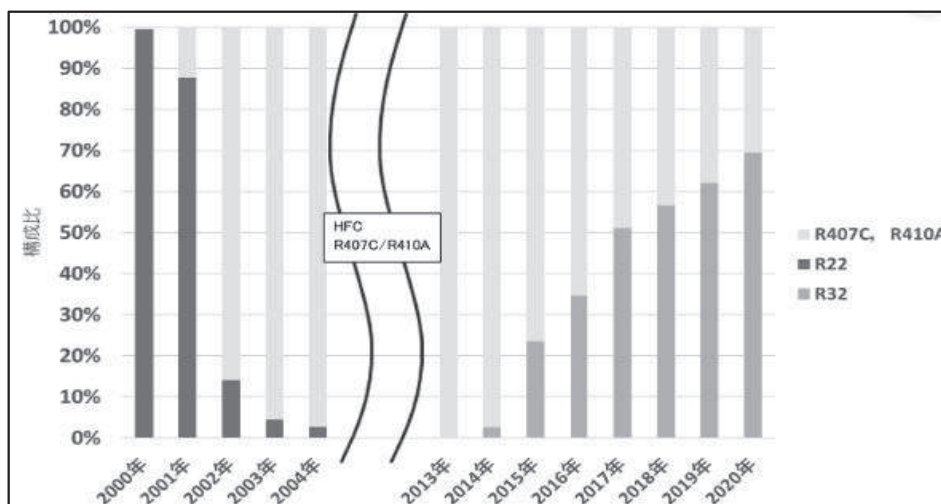


図2. パッケージエアコン 年度別冷媒種構成比

表1. ビル用マルチエアコンの指定製品化予定

指定製品	従来冷媒		GWP法規制		商品化済の低GWP冷媒		
		GWP	目標GWP	商品化目標年度	GWP	特性	
家庭用エアコン	R410A	2,090	750	2018年	R32	675	微燃性
店舗・オフィス用エアコン				冷凍能力3ト未満			
				冷凍能力3ト以上	2023年	—	—
ビル用マルチエアコン*				2025年	—	—	—

※冷暖フリー・寒冷地向け・水熱源・更新用を除く

OR32冷媒の特性について

業務用エアコンに使用しているHFC冷媒はIS0817の安全性分類では毒性が小さく、燃焼性特性も弱いA1に属するものやGWPの小さいA2L(微燃性)に属するものがあります。(表2)

今後、生産量・消費量の削減目標達成のため、R410A等使用量の多いビル用マルチエアコン等はA2L冷媒(R32等)への移行が必要となっており、国内各空調メーカーはA2L冷媒(R32等)使用の製品開発・販売切替を検討中です。R32冷媒は、環境性・エネルギー効率・安全性・経済性の全てにバランスの取れた冷媒で表3に示す特徴(メリット・デメリット)があります。

表2. 主要冷媒の比較

		オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)	A1/A2L
CFC	R12	1	10,900	A1
HCFC	R22	0.055	1,810	A1
HFC	R407C	0	1,770	A1
	R410A	0	2,090	A1
	R32	0	675	A2L

※ODP: Ozone Depletion Potential (CFC12を1としたオゾン破壊係数)

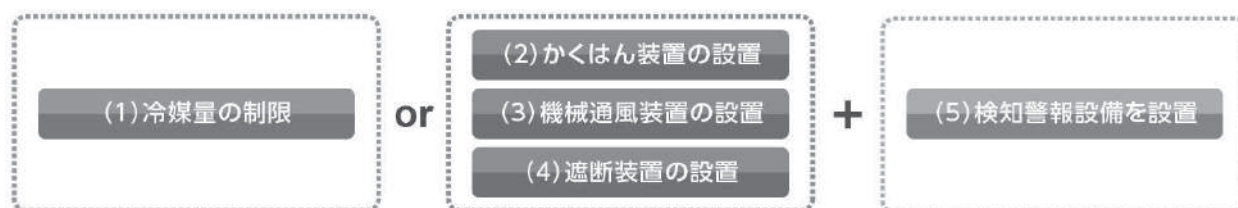
※GWP: Global Warming Potential (CO2を1とした地球温暖化係数)

表3. R32冷媒の特徴

メリット <ul style="list-style-type: none"> ■オゾン破壊係数ゼロ ■R410Aに比べ地球温暖化係数が低い ■毒性がなく安全性が高い ■蒸発潜熱が大きいためコンパクト化が可能 ■熱伝導率が大きく効率的 ■単一冷媒で追加充填が可能
デメリット <ul style="list-style-type: none"> ■微燃性であり取扱いに注意が必要 ■圧力が高いため高耐圧仕様による施工が必要

OR32冷媒に対する安全対策

R32冷媒は微燃性の特徴があり、燃焼を防止するための対策が日本冷凍空調工業会ガイドラインJRA GL-16, GL-20に記載されています。



※JRA GL-16(2023年版): 微燃性(A2L)冷媒を使用した業務用エアコンの冷媒漏えい時の安全確保のための施設ガイドライン

※JRA GL-20(2022年版): 特定不活性ガスを使用した冷媒設備の冷媒ガスが漏えいしたときの燃焼を防止するための適切な措置

※出典: 1) 日本冷凍空調工業会
2) 環境省
3) 経済産業省

「業務用エアコンの冷媒について」
「令和5年度フロン排出抑制法に関する説明会資料」
「フロン対策の動向について(令和4年1月)」

適正工期、働き方改革の推進等で意見・情報交換

当協会と関西配管工事業協同組合、近畿ダクト工事業協同組合、近畿保温保冷工業協会で構成する第39回4団体協議会が下記により開かれ、「適正な工期設定等による働き方改革の推進」等について、意見・情報を交換しました。

- ・日時 令和5年7月31日
- ・会場 新トヤマビル3階貸会議室
- ・出席人数 15名

初めに、事務局から、適正な工期設定等による働き方改革の推進について、説明の後、意見が交わされました。この中では、「適正工期とは具体的に何を以て定義するのか、請負業という業態の中で、請負条件に提示する事を行ってこなかった。特に、民間の発注者に対して、どのように説明するのか難しい。現場従事者が週休2日という意識に変わっていかないと「働き方改革」は実現しないのでは。」等の声が出されました。また、「建築業者と設備業者を平等に扱ってほしい」との専門工事業団体からの要望について、「スーパーゼネコンでは、従来の対応が大きく変わってきており、建築業者と設備業者との取り扱いに差を設けていない。ただ、全てのゼネコンの対応が変わるにはかなり時間がかかると感じる。」との声があり、「工期の交渉ができる状況にはない。週休2日をやろうとすると、現場従事者の施工能力がそのままであれば、能力は6分の5に減るので、生産性の向上で補うしかない。また、建設従事者が減少傾向で繁忙期に入り先行きが見えない。施工図がそのまま制作図に繋がるBIM化や資機材搬入の一括化に取り組むゼネコンもあって、合理化・効率化に向けて動きはある。一番の問題は、建築・設備の一括発注。建築工事の遅延によって設備工事に最もしわ寄せがくる。設備については、分離発注を推進してほしい。設備は隙間の工事が多いので、施工できる体制や施工スペースの確保が重要。4週8休が当たり前となってほしい。週休2日が取れないと、転職する社員が出る。」との現場の声がありました。建設業への若年者の入職を増やすためには、「2024年問題は、建設業が変わるチャ

ンスと認識している。高卒への求人では、一定の月給、週休2日等が明示されないと学校側は生徒にも示さない状況。他産業よりもいかに魅力的な建設業界にしていくか。本気度が試される。魅力的な業界にするためには、もっと賃金をあげないといけない。例えば、1.5倍くらい。女性の現場参入は、フルタイムだと厳しいと感じる。ただ、工場での生産作業に従事することは可能なので、女性の登用が進んでいる。現場での作業を如何に軽減し、合理化できるかが重要。」といった意見が出されました。その他、「団体として、現場の問題点等を元請へ提示する必要があるのではないか。設備投資に関して、何か協力できる場所があるかも知れないので、3団体から情報発信してほしい。」との声がありました。



第39回会合

また、第40回4団体協議会が下記により開かれ、「適正工期の設定」、「資機材、工事価格の高騰」等について、意見・情報を交換しました。

- ・日時 令和5年11月27日
- ・会場 新トヤマビル3階貸会議室
- ・出席人数 13名

初めに、事務局から、適正工期について説明の後、意見が交わされました。この中では、「数量の契約はあっても、工期という時間の契約はない。現在、時間という要素を見積もり条件に入れ込む方法を模索している。具体的には、これまでの週6日の現場開所日が、週5日となる関係でそれを踏まえた契約を、例えば、土曜日に出る場合は追加の取扱いをする等、元請との間で合意できるよ

う検討をしている。配管の場合、工期遵守という責任感はあるが、工期短縮などの無理な工程で施工することは、品質が維持できなく、水漏れの原因に繋がると感じる。サブコンが仕事を断る理由として、協力会社の専門業者不足もあるのではないかと。受注案件が多く、サブコンとしても現場担当者（技術者）が確保できない現状がある。現下の状況を踏まえ、見積もりに設計変更、条件追加の決定期日や品質の限定を盛り込もうと、ゼネコン等へ要望している。配管もダクト同様、工場プレハブ化が進んできているが、まだまだ現場施工が多い。全国的に職人不足が深刻で、応援で人数を増やせないのが、契約時点で人数を減らして契約するしかないのではないかと。最低でも、4週6閉所ベースになる必要がある。関東と関西の現場でも閉所では開きがある。今、大阪の現状は、4閉所が現状ではないかと。また、ゼネコンの規模によって閉所の格差が出てきているのでは。設備工事は、インサート以降の工程が主なので、工程としては、6閉所なり8閉所が出来ているのでは。自工程の限定や専門工事業者ごとの工程の確保等、しっかりマネジメントできるようにしたい。DX化で効率化を進めたいが、現下では、実績のない工法などを使えないので、緩和の必要がある。」といった声がありました。

次いで、事務局から資機材、工事価格の高騰に

ついて、説明の後、意見が交わされ、「設備機械の価格が大幅に上がっている。機械により製作スピードは上がるが、取付に要する時間は、これまでと変化はない。様々な要因から一人親方で辞めていくケースもあることから、人手不足は外国人労働者に頼らざるを得ない。ただ、特定技能労働者でも現場に入る許可が、面談等に要する期間が長いため、なかなか下りないゼネコンもある。保温工事は、工場生産できることが限られているので、人手が減れば、出来ることは減っていく。外国人労働者についても、現場に入るには一定期間研修が必要なので、その分、人件費（コスト）が発生する。また、現状は4閉所なので、8閉所になった時にどのような影響があるか懸念している。ベトナムの労働者については、最近、募ってもなかなか来てくれなくなってきている。」との声がありました。



第40回会合

第21回管工機材・設備総合展が開催

大阪管工機材商業協同組合（理事長岡崎信一氏）主催の「第21回管工機材・設備総合展 OSAKA2023」が9月7～9日の3日間、大阪・南港のインテックス大阪6号館Aで開催され、当協会も協賛団体として参画しました。

同展は、関西地区管材業界の一大イベントとして、隔年開催されているものです。

今回は、194企業・団体が、359小間に最新製品・技術を出展し、1万5千人を超える来場者で賑わいました。

今回は、メインテーマに「ズドーンと発信！管！環！感！関！響け流体テクノロジー」を掲げ、各ブースでは、生産現場での省エネ、リサイクル、環境負荷軽減に貢献する環境関連機器をはじめ、

洪水などの土砂災害の復旧に貢献する設備機器が幅広く紹介され、社会インフラの構築と快適環境の実現に大きな役割を果たす管材・設備機器が来場者に広くアピールしました。



テープカット 二列目右から2人目 城口副会長

第50回野球大会

(株)朝日工業社が昨年に続き優勝



優勝 (株)朝日工業社大阪支社	準優勝 三機工業(株)関西支社
第3位 若林設備工業(株)	第4位 日比谷総合設備(株)

最優秀選手賞 (株)朝日工業社大阪支社 中丸 英治選手
敢闘賞 三機工業(株)関西支社 田中 太陽選手

第50回野球大会は、晴れ渡る秋空の下、令和5年10月11日～13日の3日間にわたり、セレッソスポーツパーク舞洲運動場で開催されました。17チームでの熱戦が繰り広げられた結果、昨年、3年ぶりに優勝となった(株)朝日工業社と昨年準優勝の三機工業(株)と4年連続で同一カードとなった2チームが対戦。7対5で(株)朝日工業社が勝利を収め、昨年に続き、優勝を勝ち取りました。

開会式で挨拶に立った北村会長は「皆さんは設備業界の大切な一員。くれぐれも怪我のないようプレーをお願いします」と参加者らに呼びかけました。このほか、優勝旗・準優勝カップの返還などがありました。始球式では北村会長が力強い披露、熱戦の火ぶたが切られました。

三日間とも、白熱した試合が展開され、好プレーのたびに拍手が沸き起こりました。13日の閉会式では、若林副会長から優勝した(株)朝日工業社大阪支社チームへ優勝旗と表彰状等が授与され、続いて準優勝、第3位、第4位のチームへ表彰状・カップ等の授与が行われました。また、(株)日刊建設通信新聞社関西支社・



北村会長挨拶



北村会長による始球式



若林副会長からトロフィーを受ける最優秀選手賞
(株)朝日工業社大阪支社 中丸 英治選手



若林副会長からトロフィーを受ける敢闘賞
三機工業(株)関西支社 田中 太陽選手

松浦支社長から優勝・準優勝チームへ盾が贈呈されました。

閉会の辞で若林副会長は「天候に恵まれた大会となり、選手の皆さんは日ごろの成果を存分に発揮してくれた。これからも当協会の重要な行事と

して引き続き開催していきたい」とねぎらいの言葉を述べました。

今大会も、審判及び青年部会の皆様による進行・運営により円滑に進み、無事終了することができました。関係各位に心から感謝申し上げます。



優勝 株朝日工業社大阪支社チーム



準優勝 三機工業(株)関西支社

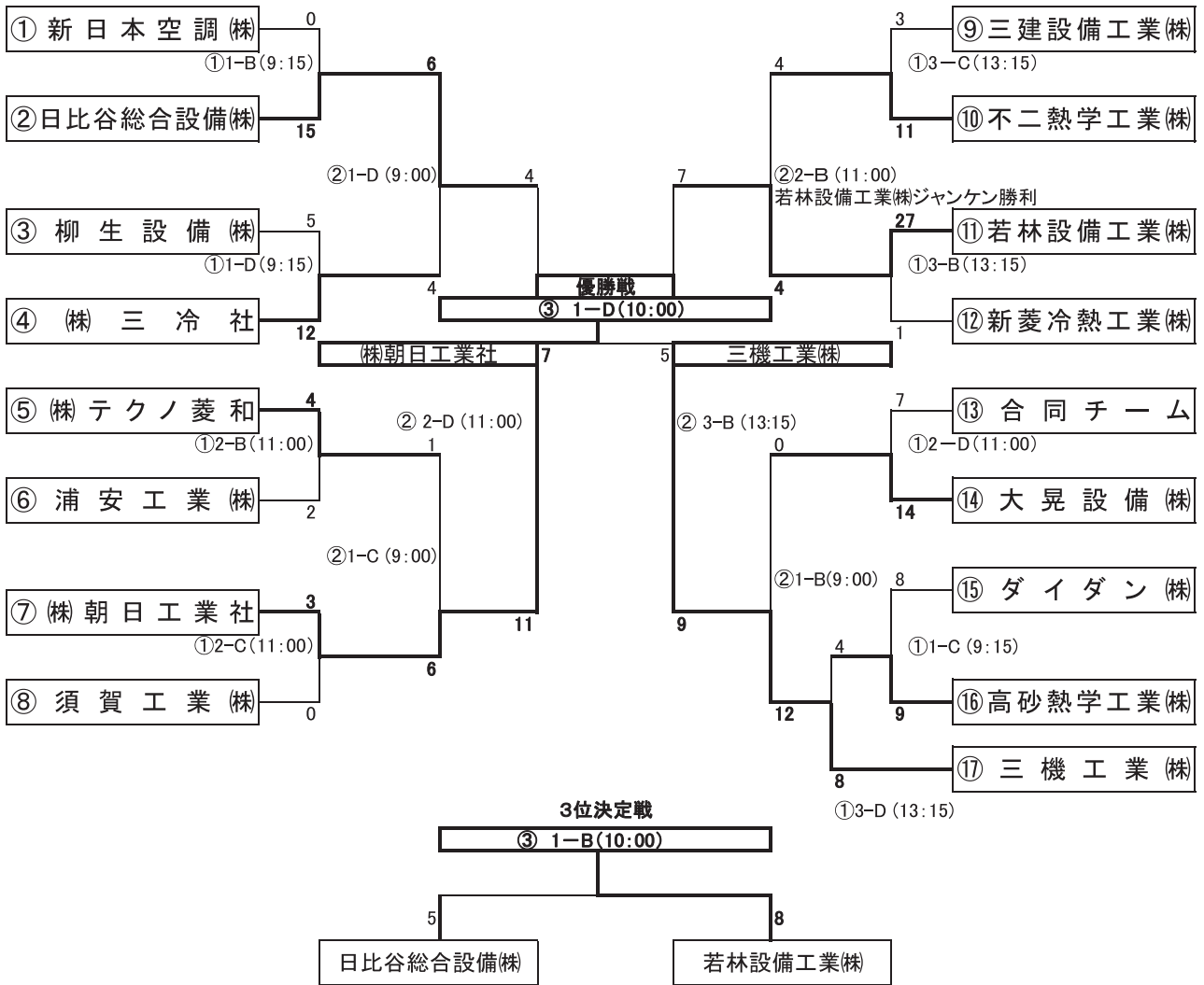


第3位 若林設備工業(株)



第4位 日比谷総合設備(株)

第50回野球大会組合せ表



観戦記 決勝戦

(株)朝日工業社 VS 三機工業(株)

(株)朝日工業社 田村 秀樹

先攻 朝日工業社 VS 後攻 三機工業

4年連続同様カードとなった決勝戦です。2連覇となるか朝日工業社、去年のリベンジを果たすか三機工業。

1回表 朝日工業社攻撃 三機工業ピッチャー南選手の立ち上がりを攻め2番中丸選手がライト前ヒットを皮切りに3番須藤選手の2塁打で1点、5番小松選手のセンター前ヒットで1点、その後満塁となり8番桑原選手のセンター前ヒットで2

点、計4得点を取った。

1回裏 三機工業攻撃 1番河原林選手がライト前ヒットを打ち2・3番は凡打となり2アウトとなるが、4番三井選手がライトオーバーのホームランにて2点奪取。負けじと食らいつく展開となった。4-2

2回は両者共三者凡退となりピッチャーも調子が上がってきた様子。

3回表 朝日工業社攻撃 4番デットボールから5番小松選手のレフト前ヒット、6番吉田選手左中間ヒットで計2点追加した。6-2

3回裏では朝日工業社ピッチャー柳田選手の力投と守備陣の盛り立てもあり無失点で切り抜けた。

4回表 三機工業はピッチャーを三井選手に交代。去年登板したピッチャーで去年悔しさをぶつけるかのように無失点で切り抜けた。

その後4回裏、5回表と0点が続く。

5回裏 三機工業の攻撃9番西山選手がライトオーバーの3塁打をうち、朝日工業社ここでピッチャー交代、四ツ永選手。交代直後に三機工業3番南選手の犠牲フライにて1点を返す。6-3

6回表三機工業三井選手の力投が冴え無失点。

6回裏三機工業の攻撃で三井選手の力投に応え打線が爆発、2・3塁で7番岩倉選手のセンター前ヒットにて2点を返す。6-5

流れは三機工業ムードとなるが最終回7回表朝日工業社も1点を返す。7-5

最終回7回裏ピッチャー小松選手に交代2点差で1・3塁のピンチとなるが最後はファーストゴロにて試合終了。スコア7-5と最後まで気の抜けない試合となりました。



観戦記 3位決定戦

若林設備工業(株) VS 日比谷総合設備(株)

(株)三冷社西日本支社 森下 健二郎

第50回大会の三位決定戦は、初の3位を狙う日比谷総合設備(株)と昨年4位の若林設備工業(株)という組合せとなりました。

若林設備工業が先攻、日比谷総合設備が後攻で試合が始まりました。

1回表 日比谷総合設備 先発の鈴木選手は制球が定まらず、1アウト2・3塁のピンチを招きます。4番佐野選手にストレートを痛打され、センター本橋選手勝負するもセンターオーバーとなり、ホームラン。

直ぐに投手交代となり、吉田選手がマウンドに上がりますが6番小笠原選手にホームランを打たれ5-0。その後もヒットと好走塁で初回6失点となりました。

1回裏 若林設備工業の先発は川端選手。日比谷総合設備は立上りの制球が定まりきらないところを見逃さず、押し出しと内野ゴロの間に得点し、1回終わって6-2となりました。

2回表 1アウトから3番佐野選手がセンターへ3ベースヒット。内野ゴロの間に得点し、7-2となりました。

2回裏 連戦の疲労からか川端選手の制球が安

定しないまま、ノーアウト満塁となり谷川(賢)選手へ投手交代。三振で1アウトとするも、3番竹内選手の内野ゴロの間に得点され7-3となりました。

3、4、5回の若林設備工業の攻撃は、徐々に調子を掴んできた吉田選手の打たせて取るピッチングの前に無得点。

逆に日比谷総合設備は3回に黒田選手のホームランで7-4。5回の大和選手のレフトオーバータイムリーで7-5と徐々に点差を詰めていきます。

6回は互いに無得点で最終7回に入ります。

裏の攻撃に繋げたい日比谷総合設備は三振、投ゴロと簡単に2アウトを取ります。

しかし7番小島選手にライトオーバーのホームランを打たれ3点差と離されます。

7回裏 ロングリリーの谷川(賢)選手は疲れが見える中丁寧な投球を続け、簡単に2アウトをとります。5番の黒田選手に3ベースヒットを打たれるも後続をしっかりと押えゲームセット。

8-5で若林設備工業の勝利となりました。

序盤から点の取り合いとなりましたが、両チーム締めるところは締め、また随所に守備のファインプレーも見られ、非常に見ごたえのある試合でした。

過密スケジュールの中、最後まで全力プレーを貫いた選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。

第17回 大空会ゴルフ大会開催

平地氏が見事優勝

令和5年11月8日（水）に京都府の城陽カントリー倶楽部で47名が参加して、晴れ渡る秋空の下、第17回大空会ゴルフ大会を開催しました。

競技結果は次のとおりです。

上位入賞者（敬称略）

- ◇優勝 平地 秀行（鳳工業株式会社）
- ◇第2位 藪本 繁明（大熱工業株式会社）
- ◇第3位 若林 尚史（若林設備工業株式会社）



北村会長始球式



北村会長から平地氏へ優勝カップ



準優勝 藪本繁明様



第3位 若林尚史様



表彰式を兼ねた食事会

青年部会・なでしこ設備会 活動だより

青年部会・なでしこ設備会合同研修会を開催

当協会青年部会（長元伸吾会長）及びなでしこ設備会（坂本明子会長）は令和5年9月20日午後3時から4時30分まで大阪市西区の建設交流館で研修会を開催しました。

今回のテーマは2大テーマパークを経験した日本で唯一のテーマパークコンサルタントの清水群様を講師に招いての講演会となりました。

清水様は「ディズニーランドとUSJで学んだリーダーの心得4か条」をテーマに講演し、両パークの社員として表も裏も経験した珍しい体験にひもづけて模範となるべきリーダーの心得4か条を披露しました。



研修会風景

また研修会後には会員及び賛助会員と懇親会を開催し、親睦を深めました。



青年部会 佐野副会長 開会挨拶



【講師】清水 群 様



懇親会



なでしこ設備会 坂本会長 閉会挨拶

告知板

○賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは、変化・拡大しております。

特に、「脱炭素社会」という新たな分野への取り組みは、当協会と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。このような状況を踏まえ、当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員として入会されますと、当協会において新技術、新商品の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。

多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入
(4,000円×3月までの月数)

以後は年額(48,000円)を下記半期と下半期に分け、上半期は6月末
下半期は12月末に納入

入会手続 協会事務局までご連絡下さい。入会申込書を送付します。

○今後の行事予定

開催日	行 事	場 所
4月8日(月) 9日(火)	新入社員研修会	エル・おおさか南館 5階南ホール
5月14日(火)	当協会第51回定時総会 〳 設立50周年記念式典 〳 設立50周年記念祝賀会	リーガロイヤルホテル
9月28日(土) (予定)	第14回配管技能コンテスト	大阪府立東大阪高等職業技術専門校

●●●●●●● 機関誌「大空衛」の表紙写真の募集 ●●●●●●●

広報委員会では、年2回発行の機関誌「大空衛」の表紙写真につきましては、建築物を中心としたまちなみ等をモチーフとした写真を、会員及び賛助会員の皆様から募集したいと存じます。

つきましては、応募をお考えの方は、事務局(06-6271-0175)までご連絡して下さい。

なお、採用された方には、僅かですが、掲載料をお渡しします。

広報委員会

2024年

迎

春



一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員 (77社)

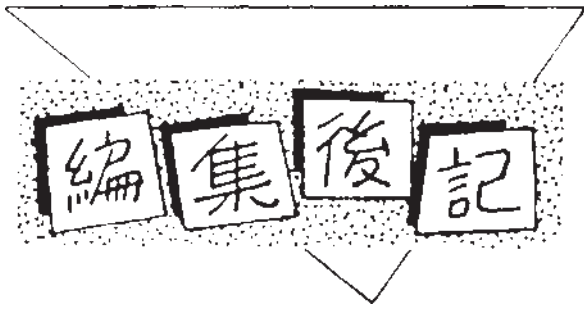
会社名	代表者氏名	会社名	代表者氏名
赤井設備工業(株)	上田 訓司	敷島煖房工業(株)	土橋 誠二
(株)朝日工業社大阪支社	西岡 毅	四國機械設備(株)	曾我 幸二
(株)上杉工業	上杉 嘉邦	島設備工業(株)	井上 暎夫
浦安工業(株)大阪支店	水野 博史	主計管工(株)	中井 主蔵
(株)江坂設備工業	中村 昭一	城陽ダイキン空調(株)	竹下 洋文
エルゴテック(株)西日本支店	高木 登	(株)城口研究所関西支店	前田 史郎
オーディーエー(株)	織田 幸子	新日本空調(株)大阪支店	上杉 晴一
(株)大阪城口研究所	城口 俊雄	新菱冷熱工業(株)大阪支社	山口 武男
鳳工業(株)	齊藤 伸一	須賀工業(株)大阪支社	河部 和生
奥田商工(株)	奥田 康雅	(株)精研	辻 武寿
影近設備工業(株)大阪支店	東野 大輔	(株)千里技研	山田 正人
川崎設備工業(株)西部支社	田中 正義	第一工業(株)大阪支店	坂下 隆
川惣電機工業(株)	昆沙賀正道	第一設備工業(株)大阪支店	中村 秀樹
川本工業(株)大阪支店	菅野 公隆	大貴設備(株)	田窪大五郎
木村工業(株)	木村 之彦	ダイクウ(株)	橋本 輝
協伸工業(株)	森岡 由智	大晃設備(株)	高橋 孝治
(株)共進社工業所	山内 順二	大成温調(株)大阪支店	柴垣 哲
享和設備(株)	竹本 和正	ダイダン(株)大阪本社	北村広外志
クウケン(株)	杉本 知紀	大熱工業(株)	藪本 繁明
九櫻設備工業(株)	高安 秀幸	高砂熱学工業(株)大阪支店	赤松 孝宏
(株)クドウエンジニアリング	磯崎 博	(株)タカネソ	高木 優
(株)ケンシヨウ	熱田 敏広	(株)竹本設備	竹本 太郎
五建工業(株)大阪支店	安田 実	田丸産業(株)	堀田 高志
サノヤス・エンテック(株)	浅尾 洋光	(株)テクノ菱和大阪支店	武田 和夫
三機工業(株)関西支社	勝野 耕治	東洋工業(株)	谷本賢太郎
三建設備工業(株)大阪支店	永田 博巳	東洋熱工業(株)大阪支店	竹田 法正
(株)三晃空調大阪本店	則直 元幸	西川設備工業(株)	関田 一也
三神工業(株)大阪支店	柴田 暢洋	(株)錦	廣田 典子
三宝電機(株)	井上 清人	(株)西原衛生工業所大阪本店	高島 良一
(株)三冷社西日本支社	金子 達哉	(株)日設関西支店	長尾 正
(株)JR西日本テクシア大阪支店	松尾 忠海	日本管工業(株)大阪営業所	小野 直人

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
日本ファシリオ(株)大阪本店	植谷 信之	(株) 北	祥 澤村 幸雄
日本メックス(株)関西支店	立川 雅司	(株) 前 田 商 会	前田 裕子
(有) 原 設 備	原 良一	(株) マ サ キ 設 備	正木 規善
日比谷総合設備(株)関西支店	金子 昌史	丸 住 (株)	吉田 博子
(株) 一 二 三 工 業 所	一二 健夫	美 和 設 備 工 業 (株)	栢瀬 秀樹
(株) 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	柳 生 設 備 (株)	福地 文雄
不 二 熱 学 工 業 (株)	近藤 康之	若 林 設 備 工 業 (株)	若林 豊
富士古河E&C(株)西日本支社	辻 郁次		

賛 助 会 員

(64社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器(株)大阪支店	佐竹 輝久	高 井 水 栓 (株)	高井 徹
アズビル(株)ビルシステムカンパニー関西支社	石坂 芳人	タ カ ラ 通 商 (株)	渡辺 晃
アルファ・ラバル(株)大阪支社	竹次 裕佑	(株)多久製作所建築・設備営業本部関西グループ	室田宗太郎
安 藤 (株)	安藤 康雄	(株) タ ブ チ 大 阪 特 販 部	下玉利 誠
イシグロ(株)西日本営業本部	大杉 正哉	テ ラ ル (株) 関 西 支 店	若林 聡
因 幡 電 機 産 業 (株)	山田 剛志	東 西 化 学 産 業 (株)	河野 祐一
井 下 機 器 (株)	井下 光泰	東 テ ク (株) 大 阪 支 店	糸満 睦夫
荏原実業(株)関西営業所	綿谷 龍一	T O T O (株) 特 販 本 部	吉田 伸典
(株)荏原製作所西大阪支店	柳田 弘一	T O T O 関 西 販 売 (株)	松尾 真也
(株)オーケーエム大阪支店	野曾原康夫	東 洋 バ ル ヴ (株) 大 阪 営 業 所	池上 史郎
オ ー ケ ー 器 材 (株)	山田 進一	(株)ニシテックビルシステム事業部	藪川 洋一
(株)大岩マシナリー関西支社	木下 益男	ニ ッ ケ イ (株) 大 阪 営 業 所	清水 栄蔵
(株)オンダ製作所西日本支店	原 嘉輝	日 製 電 機 (株) 大 阪 空 調 営 業 所	東田 康裕
(株)カナデン関西支社	守屋 太	ニ ッ タ (株)	鈴木 弘樹
川重冷熱工業(株)西日本支社	田中 宏明	日 本 電 技 (株) 大 阪 支 店	八木 浩一
(株)川本製作所大阪支店	山下 哲彦	日 本 水 処 理 工 業 (株)	川西 昌史
キタックスエンジニアリング(株)大阪営業所	西本 智彦	(株) 日 阪 製 作 所	大森 輝博
木村工機(株)大阪営業本部	登尾 公彦	日 比 谷 通 商 (株) 関 西 支 店	芝口 薫
協立エアテック(株)大阪支店	津田 勇	(株) 扶 洋	横田 好明
空研工業(株)大阪支店	秦 利治	(株) ベ ル テ ク ノ 大 阪 支 店	和田 修治
(株)古島大阪支店	宮城 弘幸	北 勢 工 業 (株)	北山 秀晴
(株)コスタコーポレーション	白井 敏弘	三 菱 電 機 冷 熱 機 器 販 売 (株) 関 西 支 社	福岡 敬史
三和鋼管(株)大阪営業所	藤井 洋央	森 松 工 業 (株) 大 阪 支 店	山本 直樹
ジョンソンコントロールズ(株)大阪支店	佐藤 健	(株)大和バルブ西日本統括支店	小池 弘明
新晃工業(株)大阪支社	加藤 勉	ヤ マ ト ヨ 産 業 (株) 本 社	大野 賢二
(株) 振 興 社 設 営	藤井 信夫	ヤ ン マ ー エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム (株) 大 阪 支 社	徳島 久泰
新 日 本 美 風 (株)	荒牧 太郎	ユ ア サ 商 事 (株) 関 西 支 社	森本 浩之
シンテック(株)大阪営業所	田村 周治	(株)ユニックス大阪営業所	内田 徹
住友商事マシネックス(株)	福元 寿哉	(株)ヨシタケ建築設備西部営業所	古澤 嘉啓
タイョージョイント(株)大阪営業所	後藤亮太郎	(株)LIXIL LWTJ 関西設備プロジェクト支店	服部 洋典
(株)ダイキアクシス大阪支店	横尾 純也	(株) R Y O D E N 西 日 本 支 社	山神 正志
(株) 大 和	和田 浩一	リ ン ナ イ (株)	岡野 哲明



令和6年能登半島地震により亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

昨年は、新型コロナ「5類」引き下げに伴い、私たちの生活環境規制が徐々に緩和されてきました。現在となっては、体調のすぐれない人や高齢者などが、マスクを着用される程度で通常モードに近い形にまで戻ってまいりました。

また、うれしいこともありました。「阪神タイガースが38年ぶりに日本一」となったことです。前回の日本一が中学2年であり、その後、長い低迷期があった上でのこの度の日本一は感慨深いものがあります。

次の日本一はとなるとこのペース（38年）でいくとこの世にいないか、ボケているかの状況でしょう。そうはならないよう来年も「アレのアレ」連覇で良い年としたいものです。岡田監督お願いします！

会員の皆様、本年も楽しく健康を維持し元気にいきましょう。（Y・K）

「子どものときに比べて、今はどうしてこんなに時間が経つのが速いんだろう？」、そう思われたことはありませんか？

何故その様に感じるのかを調べてみたところ、年齢を重ねると代謝が悪くなるから等、諸説ありますが、次の考え方は実感が沸きました。

それは、【記憶と時間間隔の結びつき】です。

【記憶が詳細なほどその瞬間は長く感じられるが、その一方、周りの世界が見慣れたものになってきたり、変化が少ないと脳が取り込む情報量が少なく（つまり記憶量が少なく）、時間が速く過ぎ去っていくように感じる】という考え方です。

この現象を有意義なものに変えるべく、次の様に行動すると、豊かで長い時間を過ごせるようです。

① 学び続ける

- ② 新しい場所を訪ねる
- ③ 新しい人に会う
- ④ 新しいことを始めてみる
- ⑤ 自発的になる

2024年は辰年です。天に昇る龍のように勢いのある、みなさまにとって素晴らしい年になるよう祈ってやみません。（A・H）

当協会は、前身である大阪管工設備研究会(1961年設立)から1974年(昭和49年)2月に新たに社団法人として認可されてより2024年2月には満50周年の佳節を迎えます。

この50年は激動といっても過言ではありません。オイルショックに始まり、狂乱物価と表現されたインフレ状態が続き、その後のバブル経済を経て「失われた30年」とも言うべき長期不況に見舞われていましたが、漸く経済好況の兆しが見えてきました。

一転、2020年初頭より新型コロナウイルスが猛威を奮いだし、世界的大流行(パンデミック)となり、昨年より収束に向かうまで3年以上の年月を費やしました。

そこで、当協会の50年の歩みや空調衛生工事業界で活躍する女性や技術者による座談会等を取めた記念誌を本年7月末に発刊すべく、制作委員会で鋭意作業を進めております。併せて、本年5月14日には記念式典、記念祝賀会を開催すべく、準備を進めております。

本年は、例年以上の多忙な日々が続くものと思われますので、関係者におかれては、ご自愛下さいますようお願いいたします。

本年もどうぞよろしく申し上げます。

(S・H)

大空衛 第94号

令和6年1月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会
〒541-0052

大阪市中央区安土町1丁目7番20号

新トヤマビル3階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail: osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 株式会社ミラテック

〔目 次〕

巻頭言 新年のご挨拶 北村 広外志 ……………1	◇国土交通省近畿地方整備局営繕部 ……………13
新年のご挨拶	◇大阪府都市整備部住宅建築局設備課 ……………13
大阪府知事 吉村 洋文 ……………2	新技術・新商品説明会を開催 ……………14
国土交通省近畿地方整備局	技術ニュースを発行 ……………17
営繕部長 中山 義章 ……………3	4団体協議会を開催 ……………21
新年交礼会を開催 ……………4	第21回管工機材・設備総合展開催 ……………22
日空衛第28回全国会議開催 ……………6	第50回野球大会を開催 ……………23
第13回配管技能コンテストを開催 ……………7	第17回大空会ゴルフ大会を開催 ……………27
配管技能コンテストに参加して ……………9	青年部会・なでしこ設備会だより ……………28
(学生の部上位)	告知板(賛助会員募集・行事予定) ……………29
令和5年度安全衛生大会を開催 ……………11	年賀ご挨拶(会員・賛助会員一同) ……………30
官公庁との懇談会	編集後記 ……………32

(表紙写真)

J R大阪駅大屋根

J R西日本が、大阪駅改良工事の一環として建設したもので、2011年に完成した。

大屋根は北側を超高層ビルで、南側を駅のプラットフォームに構築した1列の片持ち柱群で支えている。振動性状が異なる2つの架構に架かる大空間構造であるとともに、重要な駅施設の上空であることを考慮し、支持架構及び大屋根の地震力低減を目的に、免震構造が採用されている。

それにより、大屋根の部材断面を小さくし、明るさ・開放感のある空間が創出されている。

